

# 2024年度ファカルティ・ディベロップメント活動の状況

本学のファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」と表記する）は、大学全体及び各学部・研究科による様々な活動が展開されている。大学全体では、主に「高等教育研究・開発センター」が中心となって企画・立案・実施し、全学的にFD活動を支援している。各学部・研究科では、「FD委員会」等を設置し、主体的にFD活動に取り組んでいる。「高等教育研究・開発センター」では、FDの取組みを集約し、「年報」の発行により、報告を行った。

## 1. 大学全体でのFD活動

### (1) 教育改善に関する取組み

#### <高等教育研究・開発センター>

全学的視点から「教育方法の研究・開発」、「教育・授業の改善支援」、「学部横断カリキュラムの研究・開発」を柱とする諸施策の企画・開発並びに教育内容・教育技法の改善への取組みを目的とし、「高等教育研究・開発センター」を設置している。同センターは、この目的を達成するため、FDに関する大学全体の取組みを企画・運営するとともに、各学部・研究科に対するFD活動の支援を行っている。

#### <「学生による学習と授業に関するアンケート」「教育・研究指導改善アンケート」の実施>

学部においては「学生による学習と授業に関するアンケート」を、大学院においては「教育・研究指導改善アンケート」を実施している。

「学生による学習と授業に関するアンケート」は、春学期と秋学期に全学部で実施し、大学ホームページ等にてその結果を公開している。

「教育・研究指導改善アンケート」は、毎年度末に実施し、その結果を各研究科において分析し、改善につなげている。

#### <公開授業>

教員同士が互いの授業を参考にする機会として、年2回の「公開授業」期間を設けている。原則全科目（オンライン授業含む）を対象とし、各学期それぞれ2週間の期間を設け、授業を参観できる仕組みを整えている。

#### <教職員向けセミナーや研修会等の開催>

専任教職員を対象とし、教育実践力向上セミナーを年間を通じて開催している。2024年度は以下のテーマにて、グループワークや実践的プログラムを取り入れた対面形式のセミナーを全3回提供し、教育実践力の向上に寄与している。

【第1回】「半期の授業を振り返る」をテーマに、新任教員の情報共有の場と、つながりを作る機会を提供した。

【第2回】「障害のある学生への合理的配慮と修学支援」をテーマに、本学カウンセリングセンター職員の講演と意見交換を行った。

【第3回】「生成 AI を味方にする」をテーマに、近年注目されている生成 AI を活用した授業改善の方法の紹介と演習を取り入れたセミナーを行った。

#### <横浜市内4大学 FD 連携>

神奈川大学、横浜国立大学、横浜市立大学と FD 活動についての連携協定を締結し、毎年合同事業に取り組んでいる。2024 年度（第 10 回）は本学が幹事校となり、横浜・関内キャンパスにて、「ヨコハマ FD 連絡協議会」を開催した。「授業評価—意義ある実践と FD への接続に向けて—」をテーマに、4 大学関係者と活発な議論が交わされた。

#### <シラバス改革>

毎年各学部・研究科等で、組織的、定期的にシラバスを検証していく仕組みを整備しており、2024 年度も各学部 FD 委員会等を中心にシラバスチェックを行っている。

#### <教育・研究等活動に関する自己点検・評価>

専任教員の「教育・研究等活動に関する自己点検・評価」を毎年実施し、自己点検・評価委員会を中心に教育課程や教育内容・方法の改善を図っている。

### (2) 研究活動の活性化等に関する取組み

研究の全学的推進及び総合的向上に加え、研究を通じて本学の社会的使命を達成することを目的に、総合研究推進機構を設置している。同機構では、公的研究費の適切な管理体制の整備やコンプライアンス及び研究者倫理の保持に向けて、必要な啓発、教育、研修の計画を策定し、継続的に実施している。実施結果については、「研究推進委員会」を経て「研究倫理委員会」にて報告することで、適性や有効性の確認を行っている。

研究活動におけるリスクマネジメントの強化、研究倫理教育及びコンプライアンス教育等の実施や公的研究費の制度・執行に関する学内説明会の開催等に取り組み、全学的な研究活動の活性化等を図っており、「公的研究費の適正使用及び科研費執行に関する説明会」を実施している。

教員の教育研究活動における資質向上を図るため、専任教員を対象とした教員業績システムを整備し、Web サイトで公開しており、その活用を全学的に推進している。

## 2. 学部・研究科における FD 活動

各学部・研究科においては、FD 委員会等が中心となり、様々な FD 活動に取り組んでいる。また、研修教授会（教員研修会、研修会など呼称は学部により異なる）等を実施し、カリキュラムや学生支援のあり方等の振り返りや検討を行っている。非常勤講師に対しても、非常勤講師懇談会（学部教員懇談会など呼称は学部により異なる）等を開催し、カリキュラムや授業環境などについて共通理解を深めている。